

愛知県精神保健福祉センター主催

令和7年度 精神障害者地域移行・地域定着支援推進研修 (医療と福祉の連携合同研修)

現在、「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」(“にも包括”)の構築が各地で進められています。また令和6年4月施行の改正精神保健福祉法により、入院医療と地域生活との距離は、ますます縮まりつつあります。

今年度の研修では、頻回入院者等、複雑困難な事例の地域移行・地域定着支援について着目し、医療と福祉の多職種・多機関連携のあり方を現時点の制度的枠組みで整理する内容となっています。医療機関、福祉・保健機関がお互いの役割について再確認する機会として、ぜひ多くの方にご参加いただければと思います。

研修はオンラインで開催し、カリキュラムの一部のみの受講も可能です。個人で、また職場でお誘いあわせの上、お気軽にご参加ください。

■日 時：令和8年2月17日（火）午後1時30分～午後4時30分まで

■開催方法：Microsoft Teams によるオンライン開催
接続URLは受講者の方に後日ご案内いたします。

■対 象：名古屋市外に所在、または名古屋市外を所管する以下の方が対象です。

- ① 精神科医療機関職員
- ② 地域アドバイザー
- ③ 福祉関係者（基幹相談支援センター、委託相談支援事業所等職員）
- ④ 市町村の精神保健福祉担当者
- ⑤ 精神保健福祉を担当する保健所及び県関係機関職員
- ⑥ その他、当センターが参加を適当と認めた者

■定 員： 接続上限おおむね100回線（同一回線からグループで視聴することもできます）

■プログラム（時間は前後する場合がありますので、部分受講の方は余裕をもってご参加ください。）

- (1) 開会、オリエンテーション (13:30 開会)
- (2) 講演「医療と福祉の連携について～精神科病棟での実践から」(13:35～14:35)
講師：コレット美喜氏（一般財団法人精神医学研究所附属東京武蔵野病院 看護部長）
- (3) シンポジウム「医療と福祉の現場で考えること～事例を中心に」(14:40～15:50)
コーディネーター：徳山 勝氏（半田市障がい者相談支援センター）
コメント：コレット美喜氏
シンポジスト：
 - ①医療の立場から 依田喬士氏（桶狭間病院藤田こころケアセンター）
 - ②福祉の立場から 梅本早千穂氏（一宮市相談支援センター夢うさぎ）
 - ③ワーカーの立場から 緒方未輝子氏（犬山病院）
- (4) グループシェアリング及び全体シェアリング (15:50～16:25)
- (5) まとめ (16:30 閉会)

裏面もご覧ください

■申込方法

下記 URL 又は QR コードから、あいち電子申請・届出システムを通じてお申込みください。

申込期間は 令和7年12月12日（金）～令和8年1月19日（月） です。

<https://ttzk.graffer.jp/pref-aichi/smart-apply/apply-procedure-alias/0217>



■修了証について

本研修は、「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進事業実施要領」に定める「**地域生活支援関係者等に対する研修に係る事業**」として実施されるものです。修了証の発行を希望される方は、オンラインでお申し込みの際、その旨入力をお願いします。

なお、修了証の発行にあたっては、下記の要件を満たす必要があります。

- ① グループではなく個人で受講すること。
- ② 本研修の全科目を受講すること。
- ③ 受講後に事後課題及び140円切手を貼った返信用封筒（240mm×332mm）を提出すること。
（希望者にのみ詳細をメールでお伝えします。）

お問い合わせ先：愛知県精神保健福祉センター 企画支援課
（電話：052-962-5377／担当：肥田）